



Aコース全長 6km



① 新川ふれあいセンター

校区のコミュニティ活動の拠点として、昭和51年設立



② 宗隣寺

約1200年前、唐より渡来した高麗和尚によって開創された曹溪寺を、江戸時代の領主榊原氏が再興し、再授所としたもの。南北朝時代に築かれた圓心庭は、京下最古の庭園で国指定の名勝となっている。
【宇部新川駅より徒歩約25分】



③ 護国神社

板の名所で知られるこの神社は、禁門の室で戦死した二十二柱と榊原隆俊公の霊を祀るために創建された。拝殿の正面には榊原公の写真が掲げられ、本殿前には徳の社殿跡や戦死者の墓が並び、墓前当時の石燈も残り当時の姿が保たれている。
【宇部新川駅より徒歩約40分】



④ 旧桃山1号配水池監視廊入口

六角堂とともに大正13年に建築された。市内で最古の水漏施設の一つ。中山第一浄水場で浄化した水を貯水していた。貯水の様子を監視する建物は、ゴシック様式で装飾され市民生活の近代化の象徴であった。
平成9年11月、国の登録文化財に登録。
【宇部新川駅より徒歩約35分】



⑤ 桃山配水計量室(六角堂)

桃山配水池から市街地への給水を管理している。楕圓形の八角形の建物で、正面から見ると三層しか見えないので「六角堂」と呼ばれ親しまれている。建築当初は中世の様子をイメージされるような八角形の屋根があった。
平成9年11月、国の登録文化財に登録。
【宇部新川駅より徒歩約30分】



⑥ 下条の北向地藏様

片倉のお地藏様と同じ北向地藏尊で建立時期は不明。昔は、寂しいところで、牛の首や足が出たので畜を取めるために祀ったと言われる。地元の人々も多く地蔵様の日には接待がある。
【宇部新川駅より徒歩約10分】



⑦ 黄幡神社と公園

黄幡の神は農耕の神だが牛馬の神として祀ることが多い。後に縁の龜開作(1693年)の守護神として祀られた鶴の島神社(瑞神)を合祀し黄幡神社として改称した。平成9年神社周辺が整備され板の名所となりつつある。
【宇部新川駅より徒歩約10分】



⑧ 新川小学校

明治43年宇部村立尋常小学校として開校。大正5年現在位置に移転。



Bコース全長 3.5km



① 宇部市渡辺翁記念会館

宇部市発展の礎を築いた渡辺祐楽翁の遺徳を顕彰するため昭和12年、翁の開創した事業7社の寄附を得て、村野藤吾氏の設計により建築された。平成6年に大改修、9年に国の登録文化財に登録。
【宇部新川駅より徒歩約5分】



① 宇部市文化会館

市制50周年記念事業で、昭和54年11月に建設された。鉄筋コンクリート3階建。一部4階。展示場・研修室・ホール等を備え隣接する渡辺翁記念会館と共に文化活動の拠点である。
【宇部新川駅より徒歩約5分】



② 真綿川公園

今から200年前に領主榊原公により(橋の口の所で)新しく川の流れが変えられ、現在の川筋となっている。両岸は彫刻の散歩道として美しく整備されるは板の名所として市民の憩いの場になっている。
【宇部新川駅より徒歩約10分】



③ 新川小学校開校の地(新小跡)

明治43年、宇部村立新川尋常小学校として開校。文化の発祥地ともいえる。当時は、あたり一部松原であった。記念碑は開校80周年を記念して立てられた。
【宇部新川駅より徒歩約8分】



④ 宇部新川駅

昔は、宇部駅と書いていた。駅前には、バスターミナルもあり、宇部の玄関口で観光の起点となっている。



⑤ 武道館・西部体育館

旧沖の山小学校開校。現在武道館・西部体育館としている。